

令和3年度 第7回広島市感染症対策協議会

【日 時】 令和4年3月23日（水）19:00～20:00
【場 所】 広島市役所 14階第7会議室
【出席者】 小林 正夫、坂口 剛正、吉岡 宏治、高橋 宏明、佐藤 貴、
堂面 政俊、増田 裕久、長岡 義晴、岡野 里香、南 心司

1 感染症に関する最近の情報

（1）新型コロナウイルス感染症に係る対応等について（資料1 P1～13）

まん延防止等重点措置について、広島県においては、病床使用率が減少していることから、3月6日をもって終了となり、飲食店への時短要請等は解除された。また、全国18都道府県においても、3月21日をもって終了となった。全国の新規感染者数は、減少が継続している。

本市の新規感染者数は、1月22日をピークに減少傾向にあるが、減少速度は2月下旬頃から鈍くなり、3月は前週比が1を超える日もあるなど高止まりとなっている。感染者の年代別割合は、9歳以下が23%と最も多く、次いで10歳代の17%であり、19歳以下が4割を占めている。週ごとの年代別割合においても、19歳以下の割合が増加している。

本市においては、引き続き、市民に対して感染予防策等の啓発を行うとともに、広島県等と連携して感染拡大防止に向けた取り組みを推進していく。

（委員意見）

- ・ 新規感染者数の減少に向けて、引き続き関係機関と連携して対策を行ってほしい

（2）新型コロナウイルスワクチン接種について（資料1 P14～19）

本市における新型コロナウイルスワクチン接種状況は3月21日時点で、対象者全体では、1回目の接種率が83.0%、2回目の接種率が82.6%、3回目の接種率が36.4%となった。3回目接種については、65歳以上が74.8%と、急速に接種が進んでいる。

5歳以上11歳以下の子ども（小児）への新型コロナウイルスワクチンについて、令和4年2月21日付けで予防接種法に基づく接種に位置付けられたことを受け、本市においては、令和4年3月5日から医療機関における個別接種を開始した。

（委員意見）

- ・ 追加接種の接種率向上に向けて、接種の促進に努めてほしい

（3）ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種について（資料1 P20～64）

令和4年度から積極的勧奨が再開されることとなったHPVワクチンについて、国からの通知及び説明会により、キャッチアップ接種の対象者は、HPVワクチンの積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保する観点から、積極的勧奨を差し控えている間に定期接種の対象であった平成9年度生まれから平成17年度生まれまでの女子をキャッチアップ接種の対象となった。

キャッチアップ接種の期間は令和4年4月から令和7年3月までの3年間であり、期間中に定期接種の対象から新たに外れる世代についても、順次キャッチアップ接種の対象者とする事とされた。

また、接種中断者について、1回又は2回接種した後の接種間隔にかかわらず、キャッチアップ対象者となり、残りの回数の接種を行うこと、過去に接種歴があるワクチンと同一製剤で接種

を完了することが原則とされた。

(委員意見)

- ・ 必要な情報提供を適宜行い、接種の促進に努めてほしい

2 2月の定点把握対象感染症発生状況《公開》(資料2、3)

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

3 全数把握対象感染症の発生状況《公開》

区分	病 名	令和4年2月分	令和4年3月分
		報告日 2/7～3/6	報告日 3/7～3/16 現在
2類	結核	8人 (結核8人)	
4類	レジオネラ症	1人 (2/28)	
5類	カルバペネム耐性腸球菌細菌科細菌感染症	1人 (2/10)	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2人 (2/8、2/9)	
	後天性免疫不全症候群		1人 (3/10)
	水痘 (入院例に限る)	2人 (2/15、2/18)	
	梅毒	16人 (2/7(2人)、2/8、2/9、2/10、2/15(2人)、2/19(2人)、2/21、2/22、2/25、2/27、2/28、3/3、3/4)	9人 (3/7、3/8(3人)、3/9、3/10、3/11、3/14(2人))
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2人 (2/15、2/25)	
新型インフル	新型コロナウイルス感染症	11,060人	3,419人

() は届出日

4 その他《公開》

次回開催予定日 令和4年4月18日(月) 14階第7会議室

【資料】

資料1：最近の感染症情報

資料2：2月の感染症の概要

資料3：定点把握五類感染症(月報対象)の長期的変動

1 患者情報

(1) 概要

定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、2月は501人で、前月比0.59と減少した。

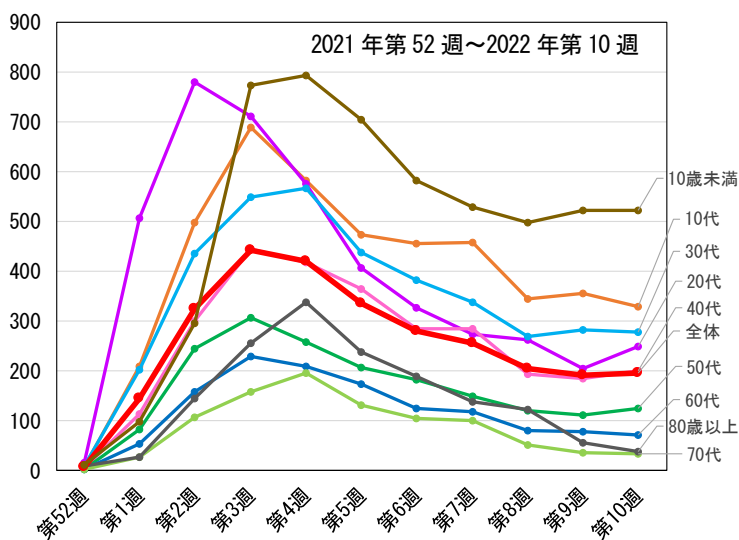
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや増加、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、突発性発しんは減少、手足口病は大きく減少した。

(2) 特記事項

- 新型コロナウイルス感染症は1月下旬から減少傾向となり、病床使用率が減少していることから、広島県の「まん延防止等重点措置」は3月6日をもって解除された。しかしながら、新規感染者数の減少は鈍化しており、直近では高止まりとなっている。人口10万人当たり年代別新規感染者数の推移（図1）を見ると、第8週（2月21日～2月27日）以降、多くの年代で横ばいであり、特に10歳未満は高い水準が続いている。また、国内でBA.1系統に比べて感染性がより高いとされるBA.2系統への置き換わりが進むと推定されており、本市では検出されていないものの（3月15日時点）、今後の発生動向に注意が必要である。

感染の再拡大を防ぐため、マスク着用、手洗い、ゼロ密、換気などの基本的な対策に加えて、体調不良時は外出を控えて受診をするなど感染防止対策を続けることが重要である。

- 梅毒の今年の累積報告数は第10週で44件と、過去5年と比べて非常に速いペースで報告されている（図2）。梅毒は性的な接触により感染し、3～6週間程度の潜伏期を経て、経時的に感染部位のしこりやバラ疹など様々な症状が逐次出現する。時に無症状になりながら進行するため、治療の遅れにつながりやすい。治療をせず放置すると脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるので、早期発見・早期治療が大切である。



- ・各年齢階層に属する人口で除した上で、人口10万人当たりには換算
- ・計算に用いた人口は、2022年1月末時点の人口

図1 新型コロナウイルス感染症人口10万人当たり年代別新規感染者数の推移（広島市）

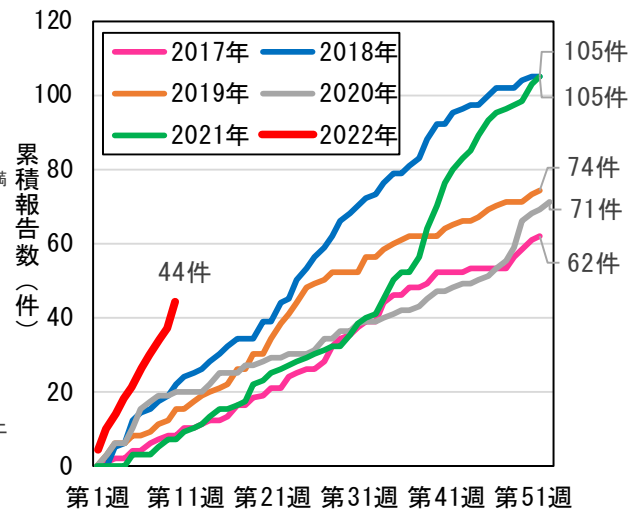


図2 梅毒累積報告数の推移（広島市）

(3) 2月の1類～5類感染症（全数報告）患者発生数

- 1類感染症：なし
 - 2類感染症：結核8件（患者：8件、潜在性結核：0件）
 - 3類感染症：なし
 - 4類感染症：レジオネラ症 1件
 - 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件、水痘（入院例に限る） 2件、梅毒 16件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2件
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 11,060件

(4) 今後の流行予測

梅毒・・・【増加傾向】発生動向に注意が必要である。

新型コロナウイルス感染症・・・【流行中】発生動向に注意が必要である。

2 検査情報

2月の検査結果判明分

臨床診断名	検出病原体	検体採取年月	患者数
流行性角結膜炎	アデノウイルス 53 型	2021 年 9 月	1 人
その他の神経系疾患	*1 アデノウイルス 2 型	2021 年 10 月	1 人
	*1 パレコウイルス 1 型		
その他の発疹性疾患	アデノウイルス 64 型	2021 年 9 月	1 人
その他の疾患（川崎病）	*2 パレコウイルス 1 型	2021 年 8 月	1 人
	*2 ライノウイルス		

*：複数病原体検出例

4 人の患者から 5 種類のウイルス 6 株が検出された。検出ウイルスの内訳は、パレコウイルス 1 型 2 株、アデノウイルス 2 型、53 型、64 型、ライノウイルス各 1 株であった。

5類感染症定点情報
(令和4年2月解析分)

1. 週報対象(第6週～第9週)

No.	疾患名	発生 記号	報告数	定点 当たり	今後の 予測	No.	疾患名	発生 記号	報告数	定点 当たり	今後の 予測
1	インフルエンザ		—	—		10	流行性耳下腺炎		1	0.04	
2	咽頭結膜熱		13	0.54		11	RSウイルス感染症		4	0.16	
3	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎		28	1.17		12	急性出血性結膜炎		—	—	
4	感染性胃腸炎		373	15.54		13	流行性角結膜炎		7	0.89	
5	水痘		4	0.16		14	細菌性髄膜炎		—	—	
6	手足口病		33	1.38		15	無菌性髄膜炎		—	—	
7	伝染性紅斑		—	—		16	マイコプラズマ肺炎		—	—	
8	突発性発しん		12	0.49		17	クラミジア肺炎		—	—	
9	ヘルパンギーナ		9	0.37		18	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)		—	—	

2. 月報対象(2月)

No.	疾患名	発生 記号	報告数	定点 当たり
1	性器クラミジア感染症		31	3.44
2	性器ヘルペス ウイルス感染症		6	0.67
3	尖圭コンジローマ		8	0.89
4	淋菌感染症		12	1.33
5	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		17	2.43
6	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症		—	—
7	薬剤耐性 緑膿菌感染症		—	—

発生記号

前月と比較しておおむね 1:2以上の増減		
前月と比較しておおむね 1:1.5～2の増減		
前月と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減		
ほぼ横ばい(発生件数少数 のものを含む)		

予測記号

流行始まり	
流行中	
流行終息傾向	
終息	

全数把握感染症報告数(令和4年2月分)

第6週～第9週(2月7日～3月6日)報告分

類型	疾患名	広島市		全 国	
		報告数	累積	報告数	累積
一類	1 エボラ出血熱	-	-	-	-
	2 クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-
	3 痘そう	-	-	-	-
	4 南米出血熱	-	-	-	-
	5 ベスト	-	-	-	-
	6 マールブルグ病	-	-	-	-
	7 ラッサ熱	-	-	-	-
二類	8 急性灰白髄炎	-	-	-	-
	9 結核	8	15	1,010	2,135
	10 ジフテリア	-	-	-	-
	11 重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-
	12 中東呼吸器症候群	-	-	-	-
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-
三類	15 コレラ	-	-	-	-
	16 細菌性赤痢	-	-	8	8
	17 腸管出血性大腸菌感染症	-	-	45	125
	18 腸チフス	-	-	-	-
	19 パラチフス	-	-	-	-
四類	20 E型肝炎	-	-	29	71
	21 ウエストナイル熱	-	-	-	-
	22 A型肝炎	-	-	6	13
	23 エキノコックス症	-	-	-	1
	24 黄熱	-	-	-	-
	25 オウム病	-	-	-	-
	26 オムスク出血熱	-	-	-	-
	27 回帰熱	-	-	-	2
	28 キャサヌル森林病	-	-	-	-
	29 Q熱	-	-	-	-
	30 狂犬病	-	-	-	-
	31 コクシジオイデス症	-	-	-	-
	32 サル痘	-	-	-	-
	33 ジカウイルス感染症	-	-	-	-
	34 重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	4
	35 腎症候性出血熱	-	-	-	-
	36 西部ウマ脳炎	-	-	-	-
	37 ダニ媒介脳炎	-	-	-	-
	38 炭疽	-	-	-	-
	39 チクングニア熱	-	-	-	-
	40 つつが虫病	-	-	4	41
	41 デング熱	-	-	-	-
	42 東部ウマ脳炎	-	-	-	-
	43 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)	-	-	-	-
	44 ニバウイルス感染症	-	-	-	-
	45 日本紅斑熱	-	-	2	4
	46 日本脳炎	-	1	-	1
	47 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-
	48 Bウイルス病	-	-	-	-
	49 鼻疽	-	-	-	-
	50 ブルセラ症	-	-	-	-
	51 ペネズエラウマ脳炎	-	-	-	-
	52 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-
	53 発しんチフス	-	-	-	-
	54 ボツリヌス症	-	-	1	1
	55 マラリア	-	-	-	-
	56 野兎病	-	-	-	-
	57 ライム病	-	-	-	2
	58 リッサウイルス感染症	-	-	-	-
	59 リフトバレー熱	-	-	-	-
	60 類鼻疽	-	-	-	-
	61 レジオネラ症	1	5	70	178
	62 レプトスピラ症	-	-	-	-
	63 ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-
五類	64 アメーバ赤痢	-	-	28	75
	65 ウイルス性肝炎	-	-	13	30
	66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	104	220
	67 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	1	2
	68 急性脳炎	-	1	20	43
	69 クリプトスポリジウム症	-	-	-	-
	70 クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	18	35
	71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	65	131
	72 後天性免疫不全症候群	-	1	66	143
	73 ジアルジア症	-	-	3	4
	74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	12	32
	75 侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	1
	76 侵襲性肺炎球菌感染症	-	-	80	191
	77 水痘(入院例に限る。)	2	2	21	41
	78 先天性風しん症候群	-	-	-	-
	79 梅毒	16	37	786	1,587
	80 播種性クリプトコックス症	-	-	16	25
	81 破傷風	-	2	4	8
	82 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-
	83 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	4	19	25
	84 百日咳	-	3	55	101
	85 風しん	-	-	-	-
	86 麻しん	-	-	-	-
	87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	1
	88 新型コロナウイルス感染症 ※	11,060	44,112	2,091,377	5,381,682

※全国データは、厚生労働省HPから引用(空港検疫及びチャーター便帰国者を除く)。広島市、全国の累積は2020年からの合計。